

# 政 務 活 動 費 出 金 票

出 金 日	5 年 3 月 30 日
項 目	① 調査研究費      ② 研修費      ③ 広報費 ④ 広聴費          ⑤ 要請・陳情活動費      ⑥ 会議費 ⑦ 資料作成費      ⑧ 資料購入費          ⑨ 人件費 ⑩ 事務所費
摘 用	市政報告書
金 額	273,066 円
支出内訳	市政報告書印刷新聞折込費  明細添付(細品書、請求書)

領収書

№009537

越川 隆文 様

2023年3月30日



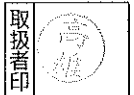
1	2	7	3	0	6	6
---	---	---	---	---	---	---

但し 市政報告書折込等代金  
上記金額正に領収いたしました。

現金	
小切手	
手形	/
振込	2023年3月30日
相殺	
消費税	



**株式会社富士印刷**  
 富山市神通本町2-1-15 〒930-0008  
 TEL 076-432-2434 FAX 076-432-8606



本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 越川隆文

納品書

No. 00083233

売上日 2023年03月28日

PAGE 1

越川 隆文様  
様

株式会社 富士印刷

富山県富山市神通本町2-1-15 〒930-0008  
TEL 076-432-2434 FAX 076-432-8606

(099999)

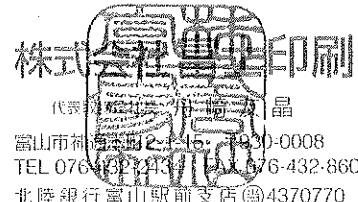
商品コード / 商品名	数量	単位	単価	金額	備考
0 <越川隆文様>市政報告チラシ<A3、2ツ折、4/4C、PDF受>3/30折込	15,490	枚		157,998	課
18 折込料立替(北日本)	8,500	枚	6.4	54,400	課
18 折込料立替(読売(日経)、富山、中日、朝日)	6,180	枚	5.8	35,844	課
※手配り分810枚を越川様へ納品 ※1個口					
	税抜額	248,242	消費税額	24,824	合計 273,066

2023年3月28日

越川隆文

殿

99999



代表取締役 品  
 富山市神尾町2-45-1000-0008  
 TEL 076-432-8331 FAX 076-432-8606  
 取引銀行 北陸銀行 富山駅前支店 ④4370770  
 富山第一銀行 富山駅前支店 ④ 012482

下記の通り御請求申し上げます。

前月御請求日	前月御請求額	御入金額	前月繰越額	当月非課税御買上額	当月御買上額	当月消費税額
				0	248,242	24,824

**当月御請求額合計 ￥273,066**

日付	品番	品名	数量	単価	金額
23/03/28	83233	市政報告チラシ(A3の2ツ折) 3/30折込	15,490 枚		157,998
23/03/28	83233	折込料立替(北日本)	8,500 枚	6.4	54,400
23/03/28	83233	折込料立替(読売(日経)・富山・朝日・中日)	6,180 枚	5.8	35,844

# こしかわの市政報告



## 住み良さを全国12位

令和四年九月議会  
人口減少について

魚津市は東洋経済新報社の2022年度の住みよさランキングで全国12位というすばらしいパフォーマンスを上げたという事でございませう。このことをいかに生かしていこうかということが非常に大事であるので、一方では、何でこんなに住みよいのに人口が減るのという素朴な疑問があるわけですね。ここら辺のギャップを捉えた

上で、質問をさせていただきます。

東洋経済新報社の2022年度全国住みよさランキングで魚津市は全国のランキング対象812市区の中で12位と大健闘いたしました。このことをどう評価し今後の市政運営に資することができると考えているか。

2問目、一方で、人口の減少幅が予想以上に拡大している。住みよさと人口増減との因果関係についてどのように考えますか。

○市長（村椿 晃君）  
本市は、当ランキングにおきまして、毎年高い評価をいただいております。2022年の最新のランキングにおいても、2021年から順位を上げ、総合順位では12位と、県内では1位となっております。わけでありませう。

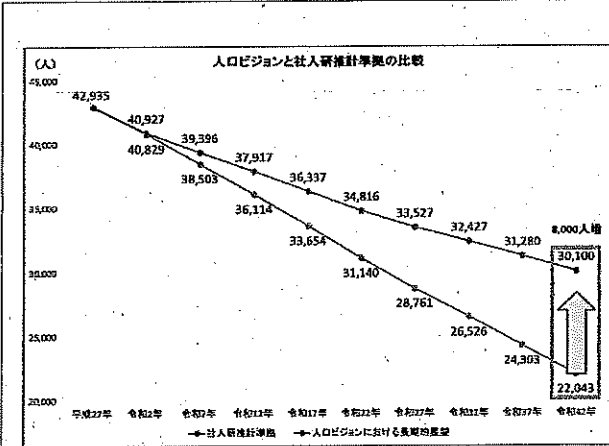
2022年のランキングにつきましましては、移住者向けのPR資料にランキングを掲載し、住みよいまちであることのアピールするなど、移住施策に活用してまいりたいと考えております。

住みよさランキングは、非常にインパクトの強いものでありますけれども、このランキングの上がり下がりにあまり左右されることなく、大切なのはやはり中身であるうと思っております。市民の皆様が住みよさを実感していただけるまちづくりを目指しまして、各種施策

を着実に推進していきたいと考えております。

次に、2つ目の住みよさと人口増減の相關関係に関するご質問にお答えいたします。  
本市の人口の状況で

左のグラフの国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計にほぼ機を同じくして魚津市の人口は減少している。一方で、魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、独自の人口ビジョンを掲げている。このギャップを埋めるためにはもう待ったなしの対応に迫られている。



すけれど、平成30年から令和2年までの住民基本台帳上における社会動態の状況につきましては、平成30年は転出超過25人、令和元年は転出超過168人、そして令和2

年は転出超過257人という事で、社会動態が著しく減少している、このような状況にあるわけでありませう。

県内自治体間では、本市から富山市、滑川市、黒部市への転出が多くなっている状況にあり、特に、20代から30代までの子育て世代の転出が大きな割合を占めております。

これらの人口異動の背景には、仕事や結婚による住宅取得等の転居が関わっているものと推測をしております。転出される方に対してアンケートを実施しておるわけでございませうけれども、魚津市の印象、特徴といったしま

いうことは、昔、美し過ぎて君が怖いという歌がありましたよね。そんなところもあるんじゃないかな。これは分析なんですけど、今、市長さんが分析をされているいろいろ重要な

因、これをもつてして、魚津市の強みはどこか、弱みはどこかというところを一つ一つの因子で研究し、そして、それに対して対策を打

しては、コンパクトで居心地のよい、住みやすいまちであったとの意見が多数寄せられておりまして、住みよさランキングの評価の高さにもつながっているわけでありませうけれども、それでは、なぜ転出をしていったのかというふうなことが問題になるわけでありませう。

明確な理由を一概に挙げることはできないわけでありませうけれども、今後、その転出理由等について評価内容を分析した上で、少しでも効果の上がる対策を講じていきたいというふうに考えております。以上でございます。

つとということが求められるのかなと思っております。

それで、この研究は、実は18万人の全国987自治体の研究の結果、宗 健さんという方が行っておられるものを私は参考にさせていただいたんですが、

人口減少の真実を分析裏面に続く。

## 魚津市の目標 大きく下回る 人口3万人台に突入

住み良いのになぜ人口が減るのか？  
（越川隆文君）住みよさと人口増減の關係などすけれども、住みよいのに人口が減ると



越川隆文 毎日街宣

毎朝の街宣を執行中  
これで10年以上継  
続しています。なぜ  
街宣を行うのか？政  
治への覚悟を毎日新  
たにするためです。

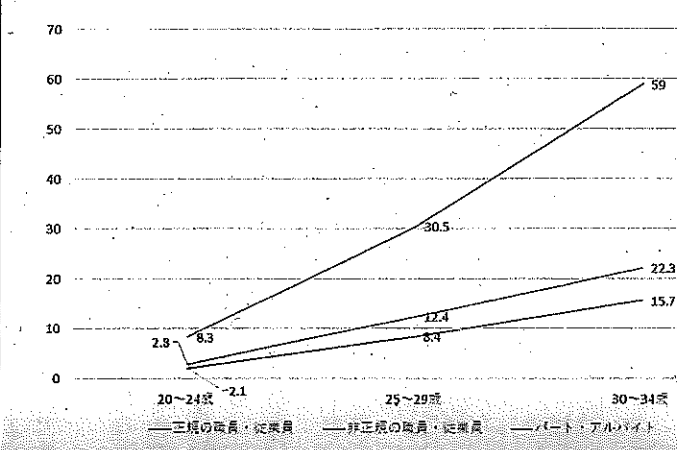
魚津市に当てはまるの  
は親しみやすさという  
こと。これは寛容性と  
いうことにもつながる  
んですが、これは一つ  
どうなのかなというふ  
うに思います。

それをもう一つ、い  
いことは生活利便性な  
んですけども、たくさ  
んのロードサイドの全  
国チェーンのお店があ  
りますよね。これは一  
つ大きな今回の因子に  
されているのかなと思  
いますし、そういった  
意味では、澤田グルー  
プさんが一生懸命お店  
を増やしてきていただ  
いでいるというのには、  
大いにこの町の住みよ  
さに貢献しているんじ  
やないかなというふう  
に思っております。そ  
ういった点でぜひ、そ  
の因子をしつかりと捉  
えて対策を打っていく  
ということをお願いし  
たいというふうに思い  
ます。これはお願いで  
とどめておきます。

人口減少の本当の理由は

ではなぜ魚津市の住み

男性の雇用形態別婚姻率(%)



出典：令和四年「少子化対策白書」

魚津市の住み良さに関  
わらず、人口減少の問  
題の真因は、2つあり  
ます。正規職員と非正規  
パートアルバイト  
との婚姻率が大きく乖  
離して行く。

所得の低下と  
都市への一極集中

魚津市の住み良さに関  
わらず、人口減少の問  
題の真因は、2つあり  
ます。正規職員と非正規  
パートアルバイト  
との婚姻率が大きく乖  
離して行く。

良さが、人口減少の歯  
止めになつていないの  
でしようか？そこには  
全国規模の人口減少の  
真因が大きく影響して  
いると考えます。また、  
下記の富山県の調査結  
果では20代の若い女  
性が県外流出する理由  
に仕事のある自由な環  
境を求めていることが  
見て取れます。

子育て支援一方で  
所得の向上

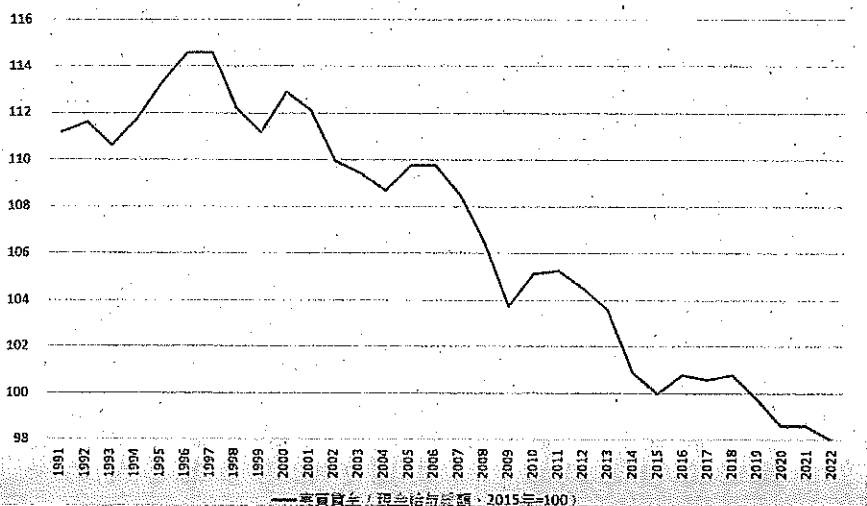
子育て支援そのものは  
必要ですが、少子化対  
策の決め手にはなりま  
せん。結婚出来ること  
への施策が必要なので  
す。ずばり、若い人た  
ちの所得を増やすこと  
です。ところが1999

7年から実質賃金は下  
落する一方です。  
ます。一つは、若い人  
たちの所得がここ20年  
あまり減少し続けてき  
たこと。もう一つは、  
東京や都市部への一極  
集中です。

脱東京一極集中  
地方産業インフラ投資  
仕事を求めて東京圏に  
一極集中することで地  
方の若い人たちが減少  
します。地方には仕事  
も少なく、賃金も低い  
のでさらに結婚する余  
裕がありません。  
東京一極集中しなくて  
も良いように、各地方  
に分散して財やサービ  
スの生産能力を身に着  
けるしありません。  
港湾や高速道路などの  
社会インフラを整備し  
て思い切った産業誘致  
に舵を切るべきです。  
旧弊を排し自由と進取  
の気質で活力ある魚津  
を作っていくよう！

富山県による県在住・県出身の若者を対象  
にしたウェルビーイング調査結果  
20歳代の、特に若い女性が県外に留まる要因について  
2021年の、特に若い女性が県外に留まる要因についての自由記述(注：複数回答可)

日本の実質賃金指数の推移(2015年=100)



出典：厚生労働省 22年は速報値

実質賃金指数は97年をピークに漸減して  
いる。出典：厚生労働省 22年は速報値

分類	ア: 在住者	イ: 出身者	ウ: 結婚相手	エ: 結婚相手	合計
会社・仕事が少ない/ない	29	17	15	30	91
都市部へのお店が少な/楽しみ/富山は田舎	22	3	13	12	50
商業施設・お店が少ない/ない	17	7	5	9	38
遊び場所・娯楽が少ない/ない	18	4	3	9	34
古い考え(男尊女卑)を持つ人が多い	9	4	5	7	25
今住んでいるところが住みやすい	2	6	6	6	20
都会が便利・道幅が広い/楽しい	8	2	3	6	19
その他	7	4	1	3	15
給与が低い	3	2	3	7	15
県外での出会い・結婚	2	4	4	7	13
親戚・近所づきあいが多い/商圏の目	2	2	2	5	9
子育てのため	1	4	2	2	9
学校が少ない	3	2	1	1	7
交通が不便	3	1	2	1	7
雪・気候	3	3	2	1	5
出会いが少ない/ない	1	2	1	2	5
家族や友人の近くにいたい				4	4
将来が見えない	3				3
探えていない	2				2
道路の道幅が狭い		2			2
親戚がいない		2			2
違う世界をみたい			1	1	2
お金がない				1	1
合計	135	64	66	113	378